

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数		
児童発達支援センターはくはぐ子ども村		令和8年3月28日				利用児童数	66/84	
		令和 8年 1月 1日						
環境・体制整備	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	65				
2	職員の配置数は適切であると思いますか。	60	2		4	・職員が何名いて、1クラス〇名の児童に対して〇名の職員配置というのかわからないので。	基準以上の人員を配置しているが、見学の時に、クラスの人数と職員数の説明だけに終わっていた。もう少し詳しくご説明することを心がけたい。	
3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	62			4		絵や写真などを使って視覚的構造化を図っている。施設が成人用に建てられた物なので、補助便座や踏み台などを使って、子どもの目線に立てて環境を整えるようにしている。今年は女子トイレの便器2つを幼児用に取り換えた。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	65	1			・冬場の廊下は少し寒いと感じました。	建物がコンクリートで出来ており、廊下は夏が熱く、冬が寒い。廊下にエアコンは2台稼働しているが追いつかず、移動式の冷暖房機や扇風機を使い、冬は、手洗い場に温水を用意するなどし、少しでも改善できるように努めている。	
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	65			1		見学時のアセスメントのほか日々の活動でもアセスメントを行い子どもの理解に努め、公認心理師や理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などの専門家に定期的な観察・助言をもらい支援に役立っている。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	63			3		今年度からホームページで支援プログラムを公表している。内容については見学の時や契約の時に説明している。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	65	1				療育後は必ず振り返りを行い、多様な視点を持って子どもを理解し、個別支援計画の見直しを行い、職員間での評価、原案作成したのち、会議で協議してから作成している。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	61	2		3		ガイドラインに沿って個別支援計画を立てている。わかりやすい言葉で説明するように心がけている。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	64	1		1		療育に入る前に職員は毎回支援計画に目を通すようにしており、療育後は、お互いに振り返りを行い、支援計画に沿って記録を残すようにしている。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	59	1		6	・定期的に変更している。	基本3部構成(感覚統合運動の時間、集団活動の時間、自由遊び)である。感覚統合運動については、3か月に1回見直し、月ごとに子どもの力に合わせてグレードアップできるように工夫している。また、季節を感じる事が出来るように設定遊びを取り入れている。
	11	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	44	7	2	13	・都合が合わず参加できていない。 ・途中からはくはぐさんへ入ったので活動があるのかわかりません。すみません。	利用者様全員が保育園・幼稚園との並行通園を行っているため、ほかの子どもとの活動は確保されている。法人のイベントには、施設外の人も招待し、触れ合う機会を作っている。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	64	1		1		見学の時や契約の時に、わかりやすい言葉を中心に説明を行っている。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	64	1		1		必ず支援計画を提示し、説明の際は面談で行い、支援の様子を伝えながら計画について話をしている。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	56	1	1	8	・まだ参加したことがないですが、いずれ参加したいと思います。	年2回実施している。案内を配布し、希望者を募り、ペアレントトレーニングを実施している。年度初めに年長児の保護者様を対象として講話を開催している。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	60	4		2		母子通園を自粛しているため、電話やメールで様子をお伝えしたり、見学をしていただいた際にお伝えするようにしている。健康面については、気になる様子がある場合はすぐにお伝えするようにしている。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	58	3	1	4		悩んだ時は、いつでも連絡がとれる体制を整えている。個別支援計画の説明も面談で行い、普段の様子や悩み事があれば何うようにしている。希望があれば、公認心理師との面談を行っている。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	63			2	1		母子通園を自粛しているため、直接支援する職員と保護者様が話をする機会がほとんどなく、児発管が話を何うようにしている。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	43	6	1	16	・都合が合わず参加できていない。	父母の会がないので、保護者様同士で出会う機会があれば家族参加型のイベントを企画している。	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	60	1		5		見学時や契約時にいつでも相談できることや公認心理師との面談ができることを伝えている。メール等で相談があった場合はすぐに連絡を入れるように心がけている。日ごろから連絡が取りやすい関係性を構築したい。	
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	62	1	1	2		子どもには、理解しやすい言葉や写真、絵カード等視覚的に知らせるなどしている。保護者様には、お便りに写真を使ったり、メールなどで知らせるなどしてきている。より共有できるよう努めたい。	
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	59			1	6	・SNS等は分らないです。(自分が調べてないので)連絡等や自己評価などはいいです。 ・少ない。	月1回のお便りを発行し、写真等を使って活動を知らせている。個別に定期的に様子を知らせるためにミニお便りを発行している。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	65				1		個人情報の取り扱いについては、職員で徹底している。相談支援や保育園等情報の共有を図る時は、保護者様の同意の下、十分に配慮していく。	
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	54	2	2	8		契約の時に、緊急時の対応や地震発生時の対応について説明を行っている。子どもたちと一緒に避難訓練のほか、職員を対象とした訓練を計画し実施している。	
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	63	1		2		・子どもたちと一緒に毎月避難訓練を行い、地震、火事、風水害、Jアラート、不審者対応など様々な状況を想定している。 ・職員を対象として、感染対策や救急救命法など学ぶ機会を作り、訓練している。	
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	60	1		5		安全計画を立て、事故には十分気を付けている。契約時に送迎車内でのチャイルドシートの種類の確認を行い、必要であれば添乗を付けるなどして安全に送迎ができるようにしている。施設内の活動では、子ども視線で環境を見直し、安全に過ごすことができるように気を付けている。置き去り防止のシステムも使用している。	
	26 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	59	1	1	5	・丁寧に対応していただいています。	小さなケガも保護者様には必ず知らせるようにし、保育園・幼稚園にも知らせその後の様子を見てもらっている。職員には、活動中ケガの恐れがあった場合は、ヒヤリハットの報告書を作成し、改善するように努めている。	
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	65	1				楽しく安全な場所になるように全職員で努めていきたい。	
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	60	6			・毎日行きたいと言っています！ ・支援センターを嫌がるというよりは、普段通っている園に行きたくなります。	登園を洗う子、泣いてやってくる子といるが、職員に会うと泣き止み、活動が始まると笑顔になり、楽しかったと帰っていく。事業所が子どもたちにとって楽しい場所となるよう子ども視点に立って工夫していきたい。	
	29 事業所の支援に満足していますか。	65	1			・いつもきめ細やかなご対応ありがとうございます。	保護者様が安心してお子様をあずけることができるように情報の伝達と共有の手段を改善できるよう努めていきたい。日々振り返りと改善、研修の場を設けながら支援の質の向上に励みたい。	

その他保護者コメント
・年少、年中、年長とお世話になり、私なりに調べて調べて悩みながら過ごしてきましたが、やはり情報をつかんでいくのが大変だと感じています。発達検査を受ける時期も、小学校のクラスをどうするか、放デイは…と悩みが続き…。放デイは各事業所が集まって合同説明会みたいなものがあるといいなと思いました。